

1. 学校マネジメントの深化

【観点Ⅳ】「学校・家庭・地域による目標の協働達成」

取組実践校：中津市立津民小学校（児童数5名 3学級）

教職員が入れ替わっても「子ども中心」の持続的・発展的な取組！

「家庭との『個人カルテ』共有と地域と連携した教育課程で目標協働達成」

- ①一人ひとりの児童の成長や支援を職員・家族で共有できる「短期、中期・長期」の「個人カルテ」を活用している。
- ②地域と連携した教育課程を編成し、児童が「言語能力」の大切さや伸びを実感することができる。

短期用

具体的な取組①

個人カルテ（算数科）	年
単元	領域
目標	
シディネステスト結果	点
指導・支援（手立て）	見取りの視点
（気づき・授業中の記録）	
単元末テスト結果	知・理 考え方 その他
成果と課題	
振り返りテスト	1回目 2回目 3回目
系統表でのさかのぼり	

単元を通した
 P: 個に応じた「目標設定」
 D: 「手立て」や「授業の記録」
 C: 単元テスト等で確認
 A: 課題から次期「手立て」へ

子どもの姿から単元を構想

カルテ記入が負担とならないよう「加筆・修正」を基本とする

つまずきがある場合は「振り返りマップ」活用

3年	4年	5年
「たいせつ」のまとめ 3年 ⑥ ・話を聞いて、質問する。 ・案内の手紙を書く。 ・組み立てを考えて、報告する文章を書く。 ・段落とその中心をとらえる。 ・場面の様子や、登場人物の気持ちを想像する。 ・登場人物の変化に気をつけて読む。 <考えや気持ちを伝える言葉> (人物を表す言葉)	「たいせつ」のまとめ 4年 ⑤ ・聞きながら、メモを取るとき、手紙で気持ちを伝える。 ・事実をわかりやすく伝える。 ・筆者の考えをとらえる。 ・場面と場面のつながりを考える。 ・特別な言葉に着目する。	「たいせつ」のまとめ 5年 ・「きくこと」で理解しあう。 ・立場の違いを明確にして、計画的に話し合う。 ・説得力のある提案をする。

自分の課題に応じたプリントを選択



具体的な取組②

「言語能力」の大切さや伸びを実感する
 地域と連携した教育課程を編成



運動会での発表



ふるさとまつりでの発表

中・長期用

児童の学校における成長の様子を家庭と共有

「学校での支援」と「家庭への支援」を学校・家庭で共有し、『子ども中心』の目標協働達成を推進

個人カルテ【中・長期】	（ ）年 名前（ ）	【令和2年度 6月作成】
現在の様子（子どもの実態）	目標（ゴール）	児童
指導・支援（手立て）	（学校での支援）	評価【一学期】（成果と課題）
（家庭への支援）	（家庭での支援）	（課題）
（学校での支援）	（学校での支援）	
（家庭への支援）	（家庭への支援）	
（学校での支援）	（学校での支援）	
（家庭への支援）	（家庭への支援）	